

# 特定非営利活動法人シャーンティ・ローカ・ジャパン

## （Shaanti Loka Japan） 設立趣旨書

### 冤罪のない世界の実現を目指して内なる平和を日本から発信する

「冤罪(えんざい)」の意味を調べると、「罪がないのに、疑われたり罰を受けたりすること。無実の罪。ぬれぎぬ」(大辞林) 「一般に無実の罪をいうが、法律用語ではなく、法制度上その意義が確定されているわけではない。冤罪によって起訴された事件が、裁判で無罪判決により救済されるとは限らず、その件数を統計的に確認することは不可能だが、誤った有罪判決の存在を否定することはできない。そのような誤判事件の救済は困難を極め、社会的関心の高揚によって初めて救済への道が開かれることも少なくない。」(日本大百科全書(ニッポニカ)小学館)とあります。

つまり、一般的に「冤罪」という言葉は使われていますが、法制度上では正式な意義を持った言葉ではありません。しかし、近年の報道では、死刑や無期懲役を受けた人々が冤罪だったことがわかり、釈放されていることを知ることができます。そして、これらの有名事件は、氷山の一角とも言われています。

さらに、この社会を見渡してみると、近年のインターネットやSNSの普及によって、仮想空間の中での一般市民同士による冤罪や誹謗中傷の被害も多く見られるようになってきました。また、学校や職場での人間関係の中にも、冤罪は見られます。「いじめ」問題の中では、真実と異なる事実をでっち上げられることも少なくありません。

それぞれの事件の冤罪被害を訴えることも重要なことではありますが、それだけでは、真の問題解決にはならないのではないかと。冤罪被害を受けているのも、冤罪加害を作り出しているのも自分と同じ人間であることから、一体、自分はどうか、自分自身を見つめていくことから「冤罪のない世界」は始まるのではないかと。私たちは、そう考えたのです。私たちは日常生活の中で、冤罪をかけたり、かけられたりしています。そして、実は、自分自身にもあらぬ罪をかけて、固定された観念で縛り付けています。冤罪とは、限られた人に起きる特別なことではなく、私たちは、日常的に冤罪加害者にも被害者にも、なりうるのです。

そうしたことから、私たちは「冤罪」を、「法的な事件のみならず、日常の人間関係において他人から、または自分から自分に、誤ったレッテルを貼られること」と定義することにし、その問題を解決していきたいと考えました。

もし、自分が自分自身に貼っているレッテルに気づき、ありのままの自分を感じられ、

自分の中に平和が訪れれば、自分が人にかけているレッテルにも気づけるようになるのではないか。「内なる平和」(心身が調和し、精神的な安定が訪れ、自己肯定感や他者への信頼感のある状態を私たちは「内なる平和」と呼んでいます。)を感じられて、中立的なものごとを見ることのできる人が増えていけば、社会の中でレッテルの張り合いが減っていくのではないか。そうしたことから、人の内面について気づきの機会を作っていきたいと考えました。

また、事実と異なるレッテルを貼られた体験をされた人やそのご家族は、孤独になりやすい傾向があります。また、ネット上で人に冤罪をかけたたり、誹謗中傷をすることも、その人がそうする原因を辿っていけば、孤独であったり、人との信頼関係が築けなかった生い立ちが関係しているのかもしれませんが。そのような人々が安心して生きる力を育めるように、「冤罪」と「内なる平和」という共通のテーマを持ってわかちあえる開かれた場を提供していきたいと考えました。

さらに、芸術(音楽や絵画など)の紹介を通して、言葉を超えた癒しの中で人々が感受性を豊かにしていくことに貢献していきたいと考えています。

私たちは、2017年12月から都内のスペースを借りて、月1回のプログラムを催しています。ヨガをして心身を調和させたり、癒しの音楽に触れたり、お茶を飲みながら、感じたことをわかちあったりすることによって、自分にも人にもレッテルを貼る必要がないことを体験していただくプログラムです。

団体名Shaanti Loka JapanのShaanti(シャーンティ)はサンスクリット語で「内なる平和」、Loka(ローカ)は「世界」を表し、2つの言葉をつなげると「平和な世界」という意味になります。Japanは、内なる平和を日本から発信する」という願いを込めて名付けました。

しかしながら、任意団体である以上、社会的信用を得ることは困難であり、公益性を示し、開かれた団体であることを多くの方に理解していただけるように、そして、団体運営の効率性向上とさらなる事業の拡大を目指し、我々の活動に賛同してくれる誰もが参加できる団体である、特定非営利活動法人となることを決意いたしました。

特定非営利活動法人になった暁には、定期的な総会の実施や、法令等で定められた書類の作成・提出、一般市民への情報公開などを適切に行うことで、社会的信用を得、健全な法人運営が実現できると考えます。私たちは、多くの方に内なる平和が訪れ、結果的に、社会から人を傷つけるようなレッテルの貼り合いが減り、世界が平和になっていくことを目指します。

#### 申請に至るまでの経緯

平成29年12月 Shaanti Loka Japan

はじめましてのご挨拶と祈りのヨガ&ライブ

平成30年1月 Healing Space vol.1

平成30年2月 Healing Space vol.2

平成30年3月18日

設立代表者 西宮 さやか